

宮内新横浜線（子母口工区）の整備により交通環境が改善しました！

～道路の整備効果についてお知らせします～

中原区宮内から横浜市港北区を結ぶ都市計画道路宮内新横浜線は、渋滞などの交通環境の改善に向け、令和3年10月より子母口工区の整備に着手し、令和5年9月に整備が完成しました。この整備効果について、令和6年11月に検証を行った結果、**2分2秒（約30%）の移動時間短縮や渋滞長の減少など**、交通環境の改善を確認しました。

整備効果① 交通の円滑化

【調査方法】

- **移動時間**：①「子母口」～②「鷹巣橋」間（①→②、②→①の往復時間を計測）
- **渋滞長**：【整備前】子母口住宅入口交差点（横浜方面・溝口方面）、子母口旭田交差点（横浜方面）
【整備後】子母口住宅入口交差点（横浜方面・溝口方面）、子母口旭田交差点（横浜方面・東京方面）

【計測日時】
・整備前：令和4年11月8日
・整備後：令和6年11月12日
7:00～9:00、17:00～19:00



- ① 子母口～② 鷹巣橋 間（①→②、②→①）：往復時間短縮
最大往復時間：6分45秒⇒4分43秒に短縮（2分2秒：-30%）
- 子母口住宅入口交差点：渋滞長解消・減少：**最大渋滞長（横浜方面）：220m⇒0m**
- 子母口旭田交差点：渋滞長減少：**最大渋滞長（横浜方面）：190m⇒25m**



整備効果② 車両走行環境の改善

- **バス停留所（バスベイ型）の設置**により、バス停車時においても、車両が停車することなく、円滑に走行できる空間を確保したため、車両の走行環境が改善



整備効果③ 歩行者の安全性の向上

- 「子母口住宅入口」へ向かう路線バスの経路変更により、路線バスが通行しなくなったこと、及び、車両交通量も減少したことから、歩行者の安全性が向上



【問合せ先】

川崎市建設緑政局道路河川整備部道路整備課 しんにし 新西
電話：044-200-2797